

IBM

@server

iSeries

マネージメント・セントラル

バージョン 5 リリース 3





@server

iSeries

マネージメント・セントラル

バージョン 5 リリース 3

ご注意!

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、13 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM OS/400 (プロダクト番号 5722-SS1) のバージョン 5、リリース 3、モディフィケーション 0 に適用されます。また、改訂版で断りがない限り、それ以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。このバージョンは、すべての RISC モデルで稼働するとは限りません。また CICS モデルでは稼働しません。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原 典： iSeries
Management Central
Version 5 Release 3

発 行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2005.8

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 1998, 2005. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2005

目次

マネージメント・セントラル	1
マネージメント・セントラル V5R3 の新機能	1
新機能または変更点を見分ける方法.	2
トピックの印刷	3
マネージメント・セントラルのスタートアップ.	4
マネージメント・セントラルのインストールとマネ ージメント・セントラルへのアクセス.	4
セントラル・システムのセットアップ.	5
エンドポイント・システムのマネージメント・セン トラル・ネットワークへの追加	6
マネージメント・セントラル・ネットワークでのシ ステム・グループの作成	7
マネージメント・セントラルを用いた作業	8
マネージメント・セントラルの関連情報.	10
付録. 特記事項.	13
商標.	14
資料に関するご使用条件	14

マネージメント・セントラル

システムの運用管理作業をシンプルに、容易に、短時間に、そして反復作業をもっと少ないものにした場合、また、サーバー所有による総合的なトータル・コストを下げたい場合には、iSeriesTM ナビゲーターが、1 つ以上のサーバーで同時に複数のシステム管理タスクの実行を可能にするテクノロジーを提供します。

iSeries ナビゲーターの「マネージメント・セントラル」をクリックすれば、基本オペレーティング・システム (OS/400) の一部として、使い勝手の良い一連のシステム管理機能を利用できます。iSeries ナビゲーターのマネージメント・セントラルを用いることにより、1 つ以上のシステムを 1 つのセントラル・システムから管理できます。セットアップの方法は簡単で、まずセントラル・システムとして使用するサーバーを選択し、あとはご自分のマネージメント・セントラル・ネットワークにエンドポイント・システムを追加していくだけです。類似したエンドポイント・システムや互いに関連するエンドポイント・システムをまとめてグループを作成すれば、AS/400 システムの管理とモニターはさらに容易になります。これで、さまざまな通信はセントラル・システムによって処理されるようになります。スケジューリングや不在オペレーションといったオプションも利用可能です。マネージメント・セントラルが、それぞれの環境の必要性に応じる点でスケーラブルかつフレキシブルであり、しかも操作が容易であることにお気付きになることでしょう。

iSeries ナビゲーター (ワイヤレス対応) により、管理者はマネージメント・セントラルに、より柔軟にアクセスして対話できます。iSeries ナビゲーター (ワイヤレス対応) で使用するデバイスについてのヒント、必要な要素をインストールして構成する方法、および機能に関する包括的な概説については、iSeries ナビゲーター (ワイヤレス対応) の概説を参照してください。

マネージメント・セントラルの柔軟性と機能を最大限に活用するには、『新機能』を参照してください。

『マネージメント・セントラル V5R3 の新機能』

最新のリリースの新機能について調べてください。

3 ページの『トピックの印刷』

このトピックおよび他の関連するトピックの PDF 版をダウンロードして印刷します。

4 ページの『マネージメント・セントラルのスタートアップ』

マネージメント・セントラルを使ってみましょう！マネージメント・セントラルを最大限に活用するには、ビジネス環境にとって意味のある仕方セントラル・システムおよびエンドポイント・システムをセットアップしてください。

8 ページの『マネージメント・セントラルを用いた作業』

サーバー管理タスク (修正の管理、パフォーマンスのモニター、ネットワーク内の 1 つ以上のサーバーでのユーザーおよびグループの管理など) を合理化するのに、マネージメント・セントラルを役立てることのできるあらゆる方法を見出してください。

マネージメント・セントラル V5R3 の新機能

マネージメント・セントラルのトピックには、iSeriesTM ナビゲーターのシステム管理機能に固有の情報が含まれています。いずれも、複数の iSeries サーバーを効率的に管理するために必要な情報です。

OS/400^(R) の各リリースで使用可能な機能を確認するには、各リリースで使用可能な機能 (Functions available by release) を参照してください。

同期機能

エンドポイント・システムのグループ内で、EIM や Kerberos などの主要な機能の同期を実行できるようになりました。そのためには、モデル・システムを指定してから、新しい「機能の同期 (Synchronize Functions)」ウィザードを使用して、指定したエンドポイント・システムに対して、そのモデル・システムの Kerberos や EIM の構成を複製します。

日時の同期

マネージメント・セントラルでは、モデル・システムの値に基づいて、ターゲット・システムに対して日時の値の同期を実行するときに、新しいタイム・ゾーン (QTIMZON) システム値を使用するようになりました。したがって、ソース・システムで夏時間 (DST) 調整の切り替えを行うときに、ターゲット・システムで GMT オフセット (QUTCOFFSET) システム値を手動で更新する必要はありません。

Kerberos 認証の使用

リモート・システム上のマネージメント・セントラル・サーバーを認証するために、プロファイルとパスワードによる認証を使用するか、Kerberos 認証を使用するかを選択できるようになりました。Kerberos 認証を選択した場合、マネージメント・セントラルは、OS/400 V5R3 以降を実行していて Kerberos が構成されているリモート・システムについては、Kerberos 認証を使用してマネージメント・セントラル・サーバーを認証します。その他のシステムに接続する場合、マネージメント・セントラルは、プロファイルとパスワードによる認証を使用します。Kerberos 認証の使用を選択した場合は、ユーザーの関連付けのためにエンタープライズ識別マッピング (EIM) を使用することも選択できます。

Kerberos と EIM を併用すれば、シングル・サインオンのソリューションをインプリメントできます。シングル・サインオンを使用すれば、ユーザー・プロファイルの管理作業がシンプルになるばかりか、多数のアプリケーションやサーバーにアクセスするためにユーザーが実行しなければならないサインオンの回数を減らすこともできます。システム・グループ全体でシングル・サインオン環境に参加するための設定方法については、シナリオ: マネージメント・セントラル・サーバーの構成 (Scenario: Configure the Management Central server) を参照してください。管理者は、複数システム間でシングル・サインオンの設定を伝搬するためのシナリオを実行してから、システム・グループ全体でシングル・サインオン環境に参加するために必要な構成作業を実行できます。

もちろん、マネージメント・セントラルや他のアプリケーションで SSL、Kerberos、EIM を使用するには、システム上でそれらをすべて正しく構成する必要があります。

モニター用のしきい値の自動リセット

トリガー・コマンドの実行時に、ファイル・モニターとメッセージ・モニターのためのしきい値を自動的にリセットするような設定を行えるようになりました。そのためには、しきい値を定義し、そのしきい値に達した時点で実行するコマンドを指定するときに、「トリガー・コマンドの実行後に自動的にリセットする (Automatically reset after trigger command has run)」を選択します。

新機能または変更点を見分ける方法

技術的に変更された箇所を見分けるには、以下の情報を用いてください。

- 新しい情報または変更された情報が始まる箇所に、➤ が付けられています。
- 新しい情報または変更された情報が終わる箇所に、➤ が付けられています。

このリリースでの新機能または変更点に関する他の情報を調べるには、プログラム資料説明書を参照してください。

トピックの印刷

この文書の PDF 版を表示するかダウンロードするには、**マネージメント・セントラル** (約 324 KB) を選択します。

そこでのトピックでは、エンドポイント・システムとシステム・グループのネットワークをセットアップする方法と、様々なタスクを実行する方法を説明しています。また、iSeries^(TM) ナビゲーターを使用して、サーバー管理作業を合理化するためのあらゆる方法についての情報も含まれています。たとえば、次のような情報があります。

- ユーザーおよびグループの管理
- インベントリーとパフォーマンス・データを収集する
- システム値の管理
- **▶ 機能の同期 ◀**
- オブジェクトのパッケージと送信
- コマンドの実行
- タスクまたはジョブをスケジュールする

これらの関連するトピックを表示またはダウンロードできます。

- パフォーマンス (約 1973 KB) には、以下のトピックが含まれています。
 - 収集サービス
 - システム・モニター、ジョブ・モニター、メッセージ・モニター、企業間取引活動モニター、ファイル・モニター
- OS/400 および関連ソフトウェアの保守管理 (約 850 KB) には、以下のトピックが含まれています。
 - 修正 (Fixes)
 - プロダクトのパッケージ (Product packaging)
 - ライセンス交付 (Licensing)

その他の情報

10 ページの『マネージメント・セントラルの関連情報』の表示や印刷も可能です。

PDF ファイルの保管

表示用または印刷用として PDF をワークステーションに保存するには、次のようにします。

1. ブラウザーで PDF を右マウス・ボタンでクリックする (上記の PDF リンクのいずれかを右マウス・ボタンでクリックする)。
2. **▶** Internet Explorer を使用している場合は、「対象をファイルに保存」をクリックします。Netscape Communicator を使用している場合は、「リンク ターゲットに名前を付けて保存」をクリックします。
◀
3. PDF を保存したいディレクトリーに進む。
4. 「保存」をクリックする。

Adobe Acrobat Reader のダウンロード

▶ PDF の表示や印刷には Adobe Acrobat Reader が必要です。このツールは、Adobe Web サイト (www.adobe.com/products/acrobat/readstep.html)  からダウンロードできます。◀

マネージメント・セントラルのスタートアップ

すべてのシステムを管理するには、まず iSeriesTM ナビゲーターで「マネージメント・セントラル」をクリックします。いくつかの簡単なステップに従って、マネージメント・セントラル用にシステムを構成します。

1. 『マネージメント・セントラルのインストールとマネージメント・セントラルへのアクセス』
使用するシステム管理機能の一部は、オプションとしてインストールできる iSeries ナビゲーターのコンポーネントになっています。iSeries ナビゲーターをインストールする際に、それらの機能をインストールするように選択してください。「iSeries ナビゲーター」ウィンドウで、「マネージメント・セントラル」を選択して開きます。
2. 5 ページの『セントラル・システムのセットアップ』
最初に iSeries ナビゲーターを開始した時点で、セントラル・システムを選択することになります。セントラル・システムは、いつでも簡単に変更できます。
3. 6 ページの『エンドポイント・システムのマネージメント・セントラル・ネットワークへの追加』
エンドポイント・システムとは、ネットワーク内のシステムであり、単一のセントラル・システムによる管理の対象となるシステムのことです。管理対象となるエンドポイント・システムを追加する方法が分かります。
4. 7 ページの『マネージメント・セントラル・ネットワークでのシステム・グループの作成』
複数のシステムからなるグループの管理という iSeries ナビゲーターの機能を最大限に活用します。複数のシステムまたは論理区画を使用して作業する場合、システム・グループを作成すると各エンドポイント・システムを選択しなくてもすべてのシステム上のタスクを実行できます。作成したシステム・グループを選択するだけで、タスクを開始できます。

上記の準備ステップを完了したら、8 ページの『マネージメント・セントラルを用いた作業』を開始できます。

マネージメント・セントラルのインストールとマネージメント・セントラルへのアクセス

一部の管理機能は、iSeries サーバーのグラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) である iSeriesTM ナビゲーターのオプションとしてインストールできるコンポーネントになっています。iSeries Access for Windows[®] をインストールする場合は、「コンポーネント選択」ウィンドウで iSeries ナビゲーターを選択してください。iSeries ナビゲーターを選択すると、iSeries ナビゲーター基本サポートが自動的に選択されます。iSeries ナビゲーター基本サポートには、いくつかのシステム管理機能が含まれています。すべてのシステム管理機能が必要であれば、「構成およびサービス」、「ユーザーおよびグループ」、「コマンド」、「パッケージおよび製品」、「モニター」も選択してください。

iSeries ナビゲーターのインストール時に必要なすべてのコンポーネントをインストールしなかった場合は、次のようにしてください。

1. iSeries ナビゲーターのメニュー・バーから、「ファイル」->「インストール・オプション (Install Options)」->「選択セットアップ」を選択します。
2. 「選択セットアップ」ウィザードを使用して、システム管理機能に必要な追加のコンポーネントをインストールします。すべてのシステム管理機能が必要であれば、「構成およびサービス」、「ユーザーおよびグループ」、「コマンド」、「パッケージおよび製品」、「モニター」を選択してください。

「選択セットアップ」ウィザードを使用すると、選択したコンポーネントがインストールされます。選択セットアップ中に選択解除されたコンポーネントは、アンインストールされます。それで、この「選択セットアップ」ウィザードを使用中に、誤ってアンインストールすることがないようにご注意ください。

iSeries ナビゲーターをインストールすると、デスクトップのアイコンをダブルクリックするだけで iSeries ナビゲーターを開始できます。これで、『セントラル・システムのセットアップ』する準備ができました。

セントラル・システムのセットアップ

iSeries^(TM) ナビゲーターを使用すれば、TCP/IP ネットワーク環境の中で、複数のサーバーを 1 つのシステムから管理できます。TCP/IP 環境の場合、マネージメント・セントラルのサーバー構成を変更しなければならない場合があります。例えば、ファイアウォールを使用している場合や、マネージメント・セントラルのサーバー通信に SSL 暗号化を使用する場合は、マネージメント・セントラルのサーバー設定にいくらかの変更が必要になる可能性があります。➤ ファイアウォールを使用するための詳細については、ファイアウォール環境のためのマネージメント・セントラル接続の構成 (Configuring Management Central Connections for Firewall Environments) を参照してください。SSL 暗号化を使用するための詳細については、SSL シナリオを参照してください。⬅

複数のサーバーを単一のシステムから管理するには、セントラル・システムを設定する必要があります。ネットワーク内のサーバーは**エンドポイント・システム**と呼ばれます。これらのエンドポイント・システムの 1 つをセントラル・システムとして選択します。ネットワークに 6 ページの『エンドポイント・システムのマネージメント・セントラル・ネットワークへの追加』してセントラル・システムを選択したなら、後はいくつかのシステム管理タスクを 1 度実行するだけです。セントラル・システムがそのタスクを開始し、必要なシステム管理データを保管します。

セントラル・システムの初めてのセットアップ

iSeries ナビゲーターの使用を開始するには、デスクトップのアイコンをダブルクリックし、その後 iSeries サーバーを選択して接続します。最初に接続するサーバーがセントラル・システムとして割り当てられます。マネージメント・セントラルが、「iSeries ナビゲーター」ウィンドウの左ペインのリストの一番上に自動的に表示されます。セントラル・システム上で、マネージメント・セントラル・サーバーが自動的に開始します。iSeries ナビゲーターのシステム管理機能にアクセスするには、「マネージメント・セントラル」を展開してください。

セントラル・システムが OS/400^(R) V5R2 以降 ➤ (または PTR SI06917 適用済みの V5R1) ⬅ を実行している場合、「マネージメント・セントラル」を右マウス・ボタンでクリックして「**接続の検査 (Verify Connection)**」を選択するだけで、セントラル・システムの接続が正しく構成されていることを確認できます。障害が生じたことを知らせるメッセージの詳細を参照するには、そのメッセージを選択して「**詳細**」をクリックします。(またはそのメッセージをダブルクリックするだけでも可能です)

セントラル・システムの変更

別のシステムをセントラル・システムとしていつでも選択できます。セントラル・システムは、直接接続しているシステムでなければなりません。iSeries ナビゲーターの最新機能を使用するには、セントラル・システムは OS/400 バージョン 5、リリース 3 (V5R3) を実行していなければなりません。

V5R2 または V5R3 iSeries ナビゲーターを実行している PC で、OS/400 V5R1 を実行しているセントラル・システムを選択する場合、V5R1 システムに SI01375、SI01376、SI01377、SI01378、SI01838 の修正 (PTF) がインストールされていることが必要です。これらの修正がないなら、V5R1 システムにはセントラル・システムとして接続できません。

セントラル・システムを変更するには、次のようにします。

1. マネージメント・セントラルを右マウス・ボタンでクリックしてから、「**セントラル・システムの変更**」を選択します。
2. 「**セントラル・システムの変更**」ダイアログを使用して、接続されているシステムのリストからシステムを選択してください。
3. セントラル・システムとして使用するシステムが、現在 iSeries ナビゲーター・ネットワークに接続されていない場合は、「**使用する接続**」を右マウス・ボタンでクリックして、「**サーバー接続 (Connection to Servers)**」→「**接続の追加**」を選択します。新しいシステムが接続されたら、セントラル・システムを新しいシステムに変更できます。

『エンドポイント・システムのマネージメント・セントラル・ネットワークへの追加』および7ページの『マネージメント・セントラル・ネットワークでのシステム・グループの作成』が完了すると、それらのエンドポイント・システムおよびシステム・グループもマネージメント・セントラルの下に表示されます。上記およびマネージメント・セントラルの他のタスクおよびトピックの詳細については、「iSeries ナビゲーター」ウィンドウから利用できる詳細なタスクのヘルプを参照してください。メニュー・バーから「ヘルプ」をクリックして、「ヘルプ・トピック (Help Topics)」を選択します。「**できること (What can I do with . . .?)**」を選択し、行えること、およびそれを実行するには「iSeries ナビゲーター」ウィンドウのどこにいる必要があるかを調べます。セントラル・システムのセットアップが完了したなら、次に、4ページの『マネージメント・セントラルのスタートアップ』に必要な他のタスクを実行することができます。

エンドポイント・システムのマネージメント・セントラル・ネットワークへの追加

エンドポイント・システムとは、「5ページの『セントラル・システムのセットアップ』」で管理のために選択した、TCP/IP ネットワーク内の任意のシステムまたは論理区画のことです。

➤ エンドポイント・システムの追加は、基本的に接続の追加とは異なります。iSeriesTM ナビゲーターから（「ファイル」→「サーバー接続 (Connection to Servers)」→「接続の追加」をクリックして) システムへの接続を追加する場合は、現在のアクティブ環境（通常は「使用する接続」）の下のリストにそのシステムが追加されます。一方、新しいエンドポイント・システムを追加する場合は、マネージメント・セントラルのエンドポイント・システムのリストにそのシステム名が追加されます。「使用する接続」の下にあるシステムでアクションを実行するときは、クライアント（自分の PC）からそのシステムに対する直接接続が必要であり、アクションは1つのシステムで一度に実行されていきます。一方、マネージメント・セントラルを使用する場合は、エンドポイント・システムのリストにある複数のシステムに対してシステム管理タスクを実行でき、セントラル・システムに対する1つのクライアント接続が必要になるだけです。各エンドポイント・システムに対する接続は、セントラル・システムが処理します。◀

OS/400^R V5R1 を実行しているエンドポイント・システムを追加する場合、その V5R1 システムに SI01375、SI01376、SI01377、SI01378、SI01838 の修正 (PTF) がインストールされていることが必要です。これらの修正がないなら、エンドポイント・システムですべてのシステム管理機能を使用できなくなります。

- 1 つまたは複数のエンドポイント・システムを手操作で追加するには、次のようにします。

1. 「エンドポイント・システム」を右マウス・ボタンでクリックして、「新しいエンドポイント・システム」を選択します。
2. システムの名前を入力して「OK」をクリックします。

これで完了です。追加したエンドポイント・システムが、「iSeriesTM ナビゲーター」ウィンドウの「エンドポイント・システム」の下に自動的に表示されます。エンドポイント・システムを追加したら、必要に応じて、そのシステムのプロパティの表示、説明の変更、 IP アドレスの変更  を行えます。

次いで、『マネージメント・セントラル・ネットワークでのシステム・グループの作成』し、エンドポイント・システムのさまざまなセットの管理に役立てることができます。iSeries ナビゲーターのマネージメント・セントラルの下には、新しいシステム・グループが表示されます。上記の内容や他のシステム管理タスクやトピックの詳細については、「iSeries ナビゲーター」ウィンドウから利用できる詳細なタスクのヘルプを参照してください。メニュー・バーから「ヘルプ」をクリックして、「ヘルプ・トピック (Help Topics)」を選択します。「できること (What can I do with . . .?)」を選択し、行えること、およびそれを実行するには「iSeries ナビゲーター」ウィンドウのどこにいる必要があるかを調べます。

マネージメント・セントラル・ネットワークでのシステム・グループの作成

システム・グループは、ユーザー定義によるエンドポイント・システムの集まりです。エンドポイント・システムとは、TCP/IP ネットワーク内の、セントラル・システムが管理する任意のシステムまたは論理区画のことであることを忘れないでください。

エンドポイント・システムは、同時に複数のシステム・グループに属することが可能です。システム・グループを作成しておけば、単一のシステムであるかのようにしてセントラル・システムからそのグループ全体を管理することができます。

システム・グループを作成するには、次の簡単なステップを実行します。

1. 「iSeriesTM ナビゲーター」ウィンドウから「マネージメント・セントラル」を開きます。
2. 「システム・グループ」を右マウス・ボタンでクリックし、「新しいシステム・グループ」を選択します。
3. 「新しいシステム・グループ」ダイアログで、新しいシステム・グループのための固有の名前を指定します。後になってシステム・グループのリストの中でこのグループを見分けるのに役立つ簡単な説明を入力することもできます。
4. 「使用可能なシステム」のリストから、この新しいグループに含めるエンドポイント・システムを選択します。「追加」ボタンを押すと、システムが「選択されたシステム」リストに追加されます。
5. このシステム・グループを他のユーザーからも表示したり変更したりできるようにするには、『マネージメント・セントラルの他のユーザーとの共用』を参照してください。「共用」タブをクリックし、共用として「読み取り専用」または「全部」を指定します。「なし」を指定すると、他のユーザーはこのシステム・グループを表示したり変更したりできなくなります。 ただし、アプリケーション管理のホスト・アプリケーションの下で管理される特別権限を持っているユーザーは例外です。マネージメント・セントラル管理アクセスと呼ばれるこの特別権限を持つユーザーは、「iSeries ナビゲーター」ウィンドウのマネージメント・セントラルの下に、すべてのタスク、定義、ジョブ・モニター、メッセージ・モニター、システム・グループを表示できます。
6. 「OK」をクリックすると、新しいシステム・グループが作成されます。

作成したシステム・グループには、入力したエンドポイント・システムがすべて含まれます。後になって、エンドポイント・システムのリストを編集したいという場合もあるかもしれません。いつでもシステム・グループにエンドポイント・システムを追加したり、システム・グループからエンドポイント・システムを除去したりすることかできます。マネージメント・セントラルからシステム・グループを削除すること

も可能です。システム・グループを削除またはシステム・グループからエンドポイント・システムを除去する場合、システム・グループだけが変更されます。システム・グループにあったエンドポイント・システムは、「iSeries ナビゲーター」ウィンドウの「エンドポイント・システム」の下に引き続きリストされます。▶ もちろん、「エンドポイント・システム」リストからエンドポイント・システムを削除した場合、そのエンドポイント・システムはすべてのシステム・グループから削除されます。◀

上記の内容や他のシステム管理タスクやトピックの詳細については、「iSeries ナビゲーター」ウィンドウから利用できる詳細なタスクのヘルプを参照してください。メニュー・バーから「ヘルプ」をクリックして、「ヘルプ・トピック (Help Topics)」を選択します。「できること (What can I do with . . .?)」を選択し、行えること、およびそれを実行するには「iSeries ナビゲーター」ウィンドウのどこにいたる必要があるかを調べます。

マネージメント・セントラルを用いた作業

システム管理タスクを合理化するには、「iSeriesTM ナビゲーター」ウィンドウで「マネージメント・セントラル」をクリックします。マネージメント・セントラルを最大限に活用するには、まずマネージメント・セントラル用にシステムを作成します。そのようにすれば、システム管理に必要なタスクを能率的に完了することができます。マネージメント・セントラル用にシステムをセットアップするための詳細については、4 ページの『マネージメント・セントラルのスタートアップ』のトピックを参照してください。システム管理タスクの簡素化と効率アップに iSeries ナビゲーターがどのように役立つかについては、この資料をこのままお読みください。

▶ EIM と Kerberos 認証を併用すれば、分散アプリケーションのためにユーザー名とパスワードを複数用意する必要がなくなります。このようにして EIM と Kerberos 認証を併用する方式（「シングル・サインオン」）の詳細については、シングル・サインオンを参照してください。◀

iSeries ナビゲーターの一連の強力なシステム管理機能を使用して、すべてのシステム管理タスクを処理できます。

コマンドの実行

iSeries ナビゲーターを使用すると、複数システム上でコマンドを実行することができます。定期的に行うコマンドについては、コマンド定義を作成して、ネットワーク内のエンドポイント・システムで実行するようスケジュールするだけで済みます。OS/400[®] コマンドの入力または選択時に役立つように、いつでも「プロンプト」ボタンをクリックして、コマンド用のパラメーターおよび値の完全なリストを表示できます。

ユーザーおよびグループの管理

iSeries ナビゲーターのユーザーおよびグループの機能を使用して、複数のシステムのユーザー、グループ、およびその特権を追跡することができます。複数のシステムに渡って、ユーザーの作成、送信、編集、および削除を行うこともできます。

インベントリーの収集

定期的に種々のインベントリーを収集して、指定したセントラル・システムにデータを保管できます。例えば、ユーザーおよびグループ、修正、システム値、ハードウェア・リソース、ソフトウェア・リソース、サービス属性、連絡先情報、またはネットワーク属性のインベントリーを収集できます。他のタイプのリソースのリストの収集を可能にする他のアプリケーションをインストールすることもできます。

指定した基準に基づいて、ハードウェア、ソフトウェア、修正、およびユーザーとグループのインベントリーを検索できます。検索の結果またはインベントリー全体を PC ファイルにエクスポートして PC アプリケーションで使用したり、他の照会を実行することができます。

システム・パフォーマンスとリソースのモニター

iSeries ナビゲーターでは、システムが行っている作業をモニターによって追跡できます。ジョブ、メッセージ、ファイル、企業間取引、およびシステム・パフォーマンスをモニターできます。 イベント・ログを使用して、これらのモニターによって作成されたイベントの記録をたどることもできます。 iSeries ナビゲーター (ワイヤレス対応) を使用してリモート側で、すべてのモニターとすべてのシステム管理タスクを表示できます。

修正の管理

修正 (またはプログラム一時修正 (PTF)) は、複数のシステムに渡って最新のものに保つようにしてください。 iSeries ナビゲーターを使用して、1 つ以上のエンドポイント・システムの修正の管理を効率的に行ってください。修正の送信、インストール、および比較更新を行うことができます。修正グループを使用して、複数の修正を単一の修正のように管理します。修正グループは、修正のリストおよび関連する修正グループを簡単に定義します。

パフォーマンス・データの収集

収集サービスを使用して、後で分析するために (たとえば、パフォーマンス・ツール (iSeries 用) を使用して)、システム・パフォーマンス・データを収集することができます。長期間に渡って収集したメトリックをグラフィカルに表示するには、「グラフ・ヒストリー (Graph History)」ウィンドウを使用してください。収集サービスを使用してデータを収集している限り、「グラフ・ヒストリー (Graph History)」機能を使用できます。システム・モニターを実行しておく必要はありません。

複数システム間の整合性の維持

iSeries ナビゲーターを使用すると、システム値の表示、比較、更新、つまり、ネットワーク内の複数システムで効率的にシステム値を管理するために必要なすべてのことを行えます。

▶ 最も正確な日時の値を持つモデル・システムを選択してから、そのモデル・システムの値によって、選択したエンドポイント・システムまたはシステム・グループの日時の値を同期します。タイム・ゾーンを変更しないで時刻だけを同期することも、時刻とタイム・ゾーンを両方ともモデル・システムの値に合わせて同期することも可能です。 ◀

▶ それぞれのターゲット・システムで各機能を個別に構成する代わりに、モデル・システムに基づいてネットワーク内の複数システムの主要な機能を同期することによって時間を節約できます。 ◀

ソフトウェア・プロダクトの管理 iSeries ナビゲーターを使用して、ネットワーク内のシステムにソフトウェア・プロダクトをパッケージして送信することができます。プロダクト定義を作成して、アプリケーションを iSeries サーバーのプロダクトとして簡単に識別します。プロダクト定義には、IBM[®] ライセンス・プログラムをインストールするのと同様、プロダクトを複数のシステムに送信およびインストールするのに必要なすべての情報が入っています。これらのユーザー定義のソフトウェア・プロダクト用に修正を生成することもできます。

ソフトウェア・インベントリーからソフトウェア・プロダクトを送信することもできます。

オブジェクトのパッケージと送信 iSeries ナビゲーターを使用して、ネットワーク内のシステムにオブジェクトをパッケージして送信することができます。データのスナップショットを作成して、データの複数のバージョンを保存することができます。

不在タスクまたはジョブのスケジュール iSeries ナビゲーターの統合スケジューラーを使用して、反復タスクを自動化できます。タスクを即時に実行するよう選択することも、スケジューラーを使用して後で実行するよう選択することもできます。タスクを 1 回だけ実行するようスケジュールすることもでき、日次、週次、または月次に都合のよい時刻に実行するようスケジュールすることもできます。また、Advanced Job Schedulerを使用することも可能です。これは、より高度な予定表管理機能が備わっており、スケジューリングされたイベントをより効果的に制御することができる別個のライセンス・プログラムです。

最後に、iSeries ナビゲーターでは、特定のリソースを他のユーザーと共用することによって、システム運用管理がさらに容易になります。iSeries ナビゲーターに用意されているオンライン・ヘルプもご使用ください。オンライン・ヘルプには、新機能の説明、ヘルプ、手順の説明、拡張された例などが含まれており、iSeries ナビゲーターのシステム管理機能を最大限に活用するためのヒントや技法が収められています。

マネージメント・セントラルの関連情報

マネージメント・セントラルのトピックと関連する IBM[®] レッドブック (Redbooks) ^(TM)、Web サイト、Information Center のトピックを以下に示します。これらのリソースに加え、マネージメント・セントラルのタスクおよびトピックの詳細については、iSeries^(TM) ナビゲーターの詳細なタスクのヘルプを参照してください。メニュー・バーから「ヘルプ」をクリックして、「ヘルプ・トピック (Help Topics)」を選択します。「できること (What can I do with . . .?)」を選択し、行えること、およびそれを実行するには「iSeries ナビゲーター」ウィンドウのどこにいる必要があるかを調べます。

レッドブック

IBM International Technical Support Organization (ITSO) によって発行された以下のレッドブックを参照して、マネージメント・セントラルの詳しい情報を探してください。

-  Managing OS/400 with Operations Navigator V5R1 Volume 1: Overview and More 
- Managing OS/400 with Operations Navigator V5R1 Volume 2: Security 
- Managing OS/400 with Operations Navigator V5R1 Volume 3: Configuration and Service 

- Managing OS/400 with Operations Navigator V5R1 Volume 4: Packages and Products 
- Managing OS/400 with Operations Navigator V5R1 Volume 5: Performance Management 
- Managing OS/400 with Operations Navigator V5R1 Volume 6: Networking  

Web サイト

マネージメント・セントラルの詳細を知るために利用できる、様々な Web サイトがあります。以下の Web サイトが含まれます。

- iSeries ナビゲーター



iSeries の管理を簡単にする広範囲に及ぶ様々なツールが iSeries ナビゲーターには備えられています。iSeries ナビゲーターのホーム・ページにアクセスして、リリースの機能面の概説、技術的コンファレンスのニュース、他の最新のトピックなど、iSeries ナビゲーターに関する情報をご覧ください。リリース更新、機能面の概説、FAQ などを含む様々な情報に関するリンクもあります。iSeries ナビゲーターのインストールとスタートアップについての情報は、Information Center の iSeries ナビゲーターのトピックを参照してください。

- iSeries ナビゲーター (ワイヤレス対応)



システム管理機能にアクセスします。iSeries ナビゲーター (ワイヤレス対応) の Web ページでは、パーベイシブ・コンピューティングのこの魅力的なソリューションについて詳しく説明しています。リリース V4R5 と V5R1 の情報については、上記の Web ページをご覧ください。V5R2 以降の情報については、Information Center の iSeries ナビゲーター (ワイヤレス対応) をご覧ください。

その他の情報

▶ マネージメント・セントラルのトピックの随所に、Information Center 内の他のマネージメント・セントラル関連トピックへのリンクが設定されています。V5R3 で特に重要な Information Center のトピックは以下のとおりです。

- シングル・サインオン (Single signon)

iSeries サーバー上でユーザー・プロファイルを管理する作業をシンプルにする方法としては、シングル・サインオンが最適です。このトピックでは、iSeries サーバーのシングル・サインオン・ソリューションを取り上げています。このシングル・サインオンでは、エンタープライズ識別マッピング (EIM) のテクノロジーと iSeries のネットワーク認証サービスを併用します。シングル・サインオン・ソリューションを使用すれば、ユーザー・プロファイルの管理作業がシンプルになるばかりか、多数のアプリケーションやサーバーにアクセスするためにユーザーが実行しなければならないサインオンの回数を減らすこともできます。

このトピックには、システム・グループ全体でシングル・サインオン環境に参加するための設定方法を示したシナリオも含まれています。管理者は、複数システム間でシングル・サインオンの設定を伝搬するためのシナリオを実行してから、システム・グループ全体でシングル・サインオン環境に参加するために必要な構成作業を実行できます。

- ファイアウォール環境のためのマネージメント・セントラル接続の構成 (Configuring Management Central Connections for Firewall Environments)

このトピックでは、マネージメント・セントラルの接続の詳細と、多種多様なファイアウォール環境でマネージメント・セントラルを使用するために必要な構成作業を取り上げています。分散管理アプリケーションであるマネージメント・セントラルには、着信と発信のための多数の TCP/IP ソケット接続が必要です。一方、ファイアウォールでは、着信と発信のための接続を制限または変更することが基本的な前提になっています。 <<

付録. 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。使用許諾については、下記の宛先に書面にてご照会ください。

〒106-0032
東京都港区六本木 3-2-31
IBM World Trade Asia Corporation
Licensing

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。 IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとしします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
Software Interoperability Coordinator, Department 49XA
3605 Highway 52 N
Rochester, MN 55901
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、IBM 機械コードのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

e(ロゴ)server

IBM

iSeries

Operating System/400

OS/400

400

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

資料に関するご使用条件

お客様がダウンロードされる資料につきましては、以下の条件にお客様が同意されることを条件にその使用が認められます。

個人使用: これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布 (頒布、送信を含む) または表示 (上映を含む) することはできません。

商業的使用: これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示することはできません。

ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。IBM は、これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態を提供され、第三者の権利の不侵害の保証、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。

これらの資料の著作権はすべて、IBM Corporation に帰属しています。

お客様が、このサイトから資料をダウンロードまたは印刷することにより、これらの条件に同意されたものとさせていただきます。



Printed in Japan